伊藤 勝巳 議員

識市会

穂波通線、向陽通線の進捗状況、今後の計画はどうなっているか

問 穂波通線、向陽通線の進捗状況について、以前に一般質問での意見を早急に、前向きに地権者と話し合ってもらい、市民の要望に応えていただくよう要望したが、先日現場を確認したところ、現状は何ら進んでいないように思われた。

現在の進捗状況及び計画目標を立て、期日を決めた答弁をお願いしたい。

まずは穂波通線に集中投資し、事業の早期発現を目指す

答 開発部長

穂波通線については、26年度に平島地内の関係者3名の方にご協力をいただき、平島地内の用地取得が全て完了した。

現在、本年度街路改良工事として買収した箇所のうち、沿道利用上支障のある箇所において側溝工事を施行中である。

今後の計画目標として、平島地内を公共下水道工事と同調しながら、27年度、28年度の2カ年で完成させる予定である。

また、27年度には、国道1号線交差点部の測量及び予備設計を実施して、公安委員会をはじめ国土交通省などの事業実施に向け、関係機関などと協議を開始していく。

28年度以降については、伊勢田前及び国道1号線交差部の用地測量及び用地取得並びに工事に着手する予定である。

なお、向陽通線については、昨年9月の議会でも答弁しているが、当面は穂波通線を集中投資することにより、事業効果の早期発現を目指しているので、理解いただきたい。

十四山保育所の送迎バスの廃止を見直せないか

問 (1) 十四山保育所の送迎バス運用状況について、市内には9カ所の保育所があるが、十四山保育所の送迎バスは十四山保育所だけが使用しているように思われているが、ほかの保育所からの要望があれば、遠足などに使用されていると聞くが、どのように使用されているのか。

(2) 児童を送迎する車両について、市所有のマイクロバスは適さないと考えるがどうか。

また、専用のバスが必要と考え、十四山保育所のバスを廃止すべきではないと思うが、市側の考えを尋ねる。

バスは27年度で廃止、今後各保育所が利用する際は市のバスを利用する

答 民生部長

(1) 十四山保育所の送迎用のバスについては、各保育所の遠足や二ツ又池公園の芝桜見学、十四山地区のコスモス畑見学、野鳥園での野鳥の生態観測などで利用させていただいている。

送迎に支障のないような時間帯に、バスの有効利用という観点から、現在そのような利用も行っている。

答 民生部長

(2) 27年度いっぱいで保育所バスの廃止をする。その後、各保育所の見学などの活用については、市のバスを利用しながら遠足など必要なものは継続していきたいと考えている。

答 児童課長

(2) 市のバスを利用することについては、問題ないと考えている。

答 市長

(2) 十四山保育所の送迎バスの位置づけについては、いろいろと御協議をいただき、27年度をもって終了するという状況である。現在も利用していることは事実であるが、一旦ここでピリオドを打っていきたい。

そして、市のバスの安全性ということについては、保育所が行事などで出かける場合は、相当数の保育士も一緒に引率するわけで、さらにそういった安全に対しては徹底をしていきたいと思っている。